

第87号

発行 兵庫県立神戸特別支援学校
編集 総務部広報係

〒651-1144 神戸市北区大脇台10-1



新たな時代に

教頭 正木 宏

卒業生の皆様、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

令和2年度があわただしく過ぎていこうとしています。

世の中は何かと暗い話題が多く、年が明けても試練が続いておりますが、力を合わせて乗り切っていきたいものです。

さて、コロナ禍による学校の臨時休業をきっかけに県立学校内のICT環境の整備が急ピッチで進みました。

タブレット端末の導入、授業動画の配信、「県立学校学

びのイノベーション推進事業」の展開等が行われています。目まぐるしく時代が変わろうとしています。

時代がどのように変転してその時々「流行」があったとしても、大切にしたい「不易」はあります。

その「不易」の一つに地域社会の存在があります。

特別支援学校におきましては、就学前から高等部まで将来を見通した教育を継続して行える強みを持っています。また、卒業後も切れ目なく一貫した支援ができるよう、特

別支援学校を核としたネットワークづくりが必要です。街の景観がめまぐるしく変わろうと、地域に根ざした人々の熱い「想い」は連綿と受け継がれていくと実感しています。

神戸特別支援学校は、地域社会は言うまでもなく、さまざまな学校をとりまく関係機関と連携を密にしながら、さまざまな取組を取り入れて来ました。また、自主的・主体的な「学び」を通して「生きる力」を養い、児童生徒一人一人の教育活動を支援しています。

日々のたゆまぬ教育活動の中で児童生徒は新たな自分と出会い、可能性を発見し、長所を伸ばして将来の夢に向かって一歩ずつ確かな歩みを進めていってくれることを確信しています。

私事ながら、小生、本校で定年退職させていただくことを誇りに思います。

コロナ禍で人と人とのコミュニケーションの方法が様変わりしていくとは思いますが、保護者の皆様、地域の皆様との強固な連携と協働は一層求められていくことでしょう。

今後とも、ご理解とご支援を賜りたく、どうぞよろしくお願ひいたします。

卒業生の言葉

小学部の思い出
(児童の感想から)

卒業にあたり、6年生の共同制作を行いました。4人の名前と「わくわく6くみゆめげんき」を分担して書きました。



訪問学級卒業生の言葉

入学してからは、初めてのことがたくさんあって、ワクワクドキドキしました。

ときどき、友だちや先生に会えるのが、とても嬉しかったです。

一番の思い出は修学旅行です。観覧車に乗ったりお土産を買ったりしました。

6年間とても楽しかったです。中学部でも新しいことにどんどんチャレンジしたいです。

卒業生の言葉
(中学部)

中学部ではたくさんの思い出があります。1年生の時は、入学式でワクワクしていたことを覚えています。中学部初めての運動会では「前前前世」の曲に合わせてダンスを頑張りました。

2年生の時は、学習発表会で、電車ダンス、仮面ライダーダンス、キラキラステージをしたことが楽しかったです。「やさしさにつまれたなら」の手話歌も頑張りました。自然体験学習では午前中はあいな里山公園に行ってお茶作り

をし、午後はしあわせの村に行き、泊まりました。夜にはクラスで出し物をしたりダンスをしたりして、とても盛り上がりました。

3年生では新型コロナウイルスのために色々な学校行事が中止になるなか、修学旅行に行けたことがとてもうれしかったです。クルーズで船の上からうずしおを見たり、イングランドの丘やオノコロパークで遊んだりして楽しかったです。また、ホテルの部屋で友だちとTVを見たりおやつを食べたりしたのがとても良かったです。いい思い出いっぱい3年間でした。

卒業生の言葉
(高等部)

「三年間で楽しかったこと」

私が三年間で一番楽しかったことは修学旅行です。その中でも淡路瓦陶芸体験とONOKOROでの活動が楽しかったです。陶芸体験では、粘土を型抜きしてとても良い作品ができました。ONOKOROでは、観覧車

から見た景色が、とても良い眺めでした。お化け屋敷や立体迷路もとても楽しかったです。

「三年間で頑張ったこと」

私が三年間でがんばったことは、3つあります。

一つ目は、生徒会活動です。放送委員長を2年生からしてきました。今、思うと良い経験になりました。もう引継ぎは終わっていますが、現放送委員長にもがばってもらいたいと思います。二つ目は、三年間学級委員長をしたことです。クラスメイトをまとめることは大変でしたが、先生方のサポートもあり、やりとげることができました。三つ目は、面接の練習です。就職試験に向けての練習を中心に行いました。先生方にアドバイスをもらいながらがんばった結果、無事に合格することができたのでうれしかったです。先生方、本当にありがとうございました。





贈ることば



小学部

6年間の写真を集めた卒業アルバムを、一人一人の笑顔を思い出しながら作りました。

入学式、運動会、プール、夏祭り。宿泊学習、校外学習、学習発表会。外食にも出かけましたね。みんなで楽しく調理もしました。

残念ながら小学部最後の1年間はそれらの楽しい行事はできなかったけれど、毎日の学校生活の積み重ねの中で、皆さんの着実な成長を感じることができました。最高学年としてみんなの前に立ってあいさつしたり発表したりする機会も多く、さすが6年生、とほめていただきましたね。毎朝電子黒板を使ってのなぞり書き、「継続は力なり」という言葉は真実だと改めて思いました。みんな本当に立派になりましたよ。

訪問学級、みんなと一緒に学ぶ機会は少なかったけれど、校外学習や野外学習で出会ったときには、とても嬉しそうにここにこしていましたね。

中学部という新しい環境で、さらに大きく伸びていってくれることを願っています。ご卒業おめでとう！

(小学部6年担任一同)

中学部

中学部三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが入学してきた三年前のことがこの間のことのように感じられ、月日の流れのはやさを実感します。

皆さんはこの三年間で、体も心も大きく成長したと思います。幼さの残っていた顔つきは大人びて、体も大きくなり、友だちや後輩を気遣う態度や自分のことを自分でする習慣も身につけられたと思います。

授業では、課題学習、音楽、体育、美術、野外学習、作業学習、自立活動と色々な分野で頑張り、たくさんのことを学べたと思います。また運動会や学習発表会、校外学習、自然体験学習、修学旅行といった学校行事を通して、クラスやグループで協力しながら楽しみ、とても良い思い出がたくさん作れました。

この三年間の経験をステップとして、高等部でもたくさんのごことにチャレンジし、学び、そして楽しんでほしいと思います。皆さんの未来が明るく豊かであることを心より願っております。

(中学部3年担任一同)

高等部

高等部3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。ついに学生生活に幕を閉じ、これからは大人の仲間入りですね。大きく成長しましたね。高等部に入学した日から、あっという間に月日が流れました。1年生で一番印象に残っていることは、学習発表会です。みなさんの取り組みがすばらしかったことを覚えています。心のこもった詩の朗読、合唱、今思い出しても涙が出そうです。2年生ではやはり暑かった熱かった運動会。何度も練習し、ブラジルの風を吹かせましたね。みなさんがキラキラと輝いていたことを思い出します。そして、3年生。休校から始まりました。進路実現に向けて、実習を頑張りましたね。毎日の授業でも、大人になる不安と期待が入り混じった表情で過ごしていて、葛藤していることがわかりました。そして、変更を重ねた修学旅行、無事にみんなで出かけることができ、心の底からうれしかったです。

これから先のみなさんの人生を心から応援しています。光り輝くすばらしい人生になりますように。まわりには必ず助けしてくれる人がいます。愛に包まれた温かい人生を送ってください。そして、一步一步力強く歩いてください。みなさんに出会えたことに感謝しています。本当にありがとう。

(高等部3年担任一同)

小学部 学校生活の思い出

小学部6組「わくわく6くみ」

3学期最初の学級の時間で書初めをしました。朝の会で電子黒板を使い日付や天気などの文字をなぞる練習をしていたので、練習ではなぞりから始めました。手本の文字からはみ出さないようにゆっくり書くようにしました。本番では毛筆で川の字のように縦線を勢いよく書いたり、手本を見て自分の名前を書いたりすることができました。みんな

で力を合わせ共同作品も作りました。一人一人が、アーティストのようで、個性的な作品となりました。

また卒業の思い出づくりとして「変身しよう」という活動に取り組み、好きな衣装やグッズを身につけ仮装大会をしました。鏡の前でサングラスをかけてポーズを決めたり、動物の帽子を被りサルやねずみに変身したり…。女子はスカートをはいてティアラをつけてお姫様になり、男子はユニフォームを着て野球選手や監督になったりしました。最後はポーズを決めて全員で記念撮影をしました。

わくわくドキドキ6組の1年間でした。



訪問学級 修学旅行

小学部6年間の締めくくりとして、10月28日(水)淡路島方面へ修学旅行に行きました。

自宅からタクシーに乗り、明石海峡大橋を渡って初めての「海外?」です。車内では、ここにししながら窓の外を見ていました。

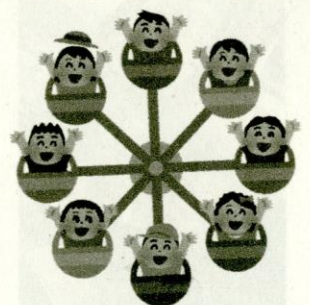
淡路島では、まず初めに淡路サービスエリアにある大きな観覧車に乗りました。ガラス張りで遠くまで見渡すことができました。海と空の青が遠くでつながっているように見えました。明石海峡大橋が小さく見え、駐車場に止まっている車は、ミニカーのようでした。

次にタクシーでハイウェイオアシスに移動し、淡路島公園内の花の谷を散策しました。まぶしい陽ざしの下、木や花、小川のせせらぎなど美しい景

色を楽しみました。

オアシス館で昼食をとり、館内にあるお店で、自分へのお土産にたまねぎのストラップを買いました。

タクシーでの外出、観覧車、買い物など、多くの初めての経験ができた貴重な一日でした。天候にも恵まれ、思い出に残る楽しい修学旅行となりました。

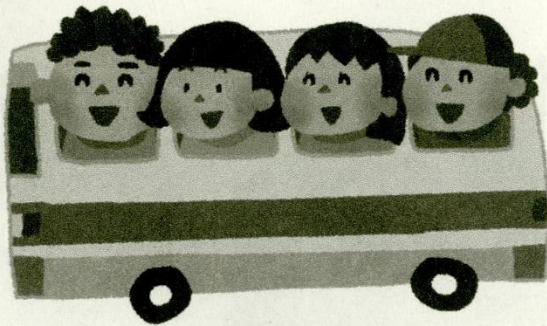


中学部 修学旅行



中学部3年生は11月12～13日に1泊2日で淡路島に行ってきました。出発当日は楽しみで笑顔いっぱい登校してきました。1日目は、淡路イングランドの丘に行きました。クラスごとに行動し、動物を見たり、満開のコスモスを見たりして楽しみました。ソフトクリームを買って「おいしいね」と言いながら食べた生徒もたくさんいました。その後は、うずしおクルーズに行きました。天気にも恵まれ、大きな渦を見ることができ、船の上では、デッキから海を眺めたり、船内を探検したりしている生徒もいました。そして、ホテルではあわびやすき焼きなど豪華なご飯を堪能するこ

とができました。2日目は、ウェルネスパーク五色に淡路瓦の陶芸体験に行きました。粘土に型を抜いたり、線を入れたりしながらそれぞれ工夫した物が完成しました。その後は、淡路ワールドパークONOKOROに行きました。小雨の中での活動になりましたが、班別で活動し乗り物に乗ったり、お土産を買ったりしました。特に芝を滑りや、ゴーカートは人気で楽しく笑顔があふれる活動になりました。帰りのバスの中では、楽しかった思い出を語りながら帰ってきました。思い出に残る修学旅行となりました。



高等部 修学旅行



12月10日から1泊2日で淡路島、徳島県へ行ってきました。2日とも良い天気で暖かく、海の色も空の色も青々とじていて、どこに行っても景色が美しかったです。

1日目、明石海峡大橋を渡り、ウェルネスパーク五色で淡路瓦粘土の陶芸体験を行いました。みんな想像力が豊かで、素晴らしい作品が出来上がりました。次は淡路ワールドパークONOKOROへ。ハンバーグを食べ、その後乗り物を楽しみました。そして大鳴門橋を渡り、鳴門市のホテルへ。全室オーシャンビュー、お待ちかねの夕食は、お刺身やお肉、てんぷら、鯛めしなどとても豪華

でした。2日目、まず大鳴門橋、渦潮をバックに記念撮影。そして徳島市の阿波踊り会館へ。本場の阿波踊りはダイナミックで、徳島県の文化に触れた貴重な時間となりました。最後は、淡路イングランドの丘で淡路牛の牛めしを食べ、コアラを見たり、芝生に寝転がったりしてのんびり過ごしました。最後の修学旅行、長い時間をみんなで過ごす中で、友だちを思いやり、クラスでまとまり、すべての活動をみんなで楽しむことができました。高等部3年生として、今までの集団生活で培った団結力を再確認することができた素晴らしい旅行になりました。



各学部便り

せいかつ 小学部

小学部では、「せいかつ」の学習で、冬の遊びをしました。凧あげや風船羽子板、福笑い、かるた等をスタンプラリー形式でまわったり、自分たちで冬の遊びを作って、他のクラスの友だちに遊んでもらったりしました。自粛期間が続く中、学校で元気よく活動する様子に、大変うれしい思いがするひとときでした。



学部集会 中学部

10月21日に今年度初めての学部集会を実施しました。生徒会役員が中心となり、体育館で感染予防対策を徹底して開催しました。この日は年度当初に行うはずだった生徒会役員の承認式を半年遅れで行い、各役員からの抱負も発表しました。3学期には中学部初となる生徒会役員選挙に向けて準備を進めています。



学年活動 高等部

2学期末に、各学年で学年活動を行いました。1年生はサメをよけながらボールをカゴに入れる「サメ鬼」、2年生は新聞玉を1番多く集めた人の勝ち「新聞球集め」、3年生は「ダンス」「ポッチャ」を行いました。お互いに声援を送り、喜び合ったり、悔しがったりと、思い出に残る時間を過ごすことができました。

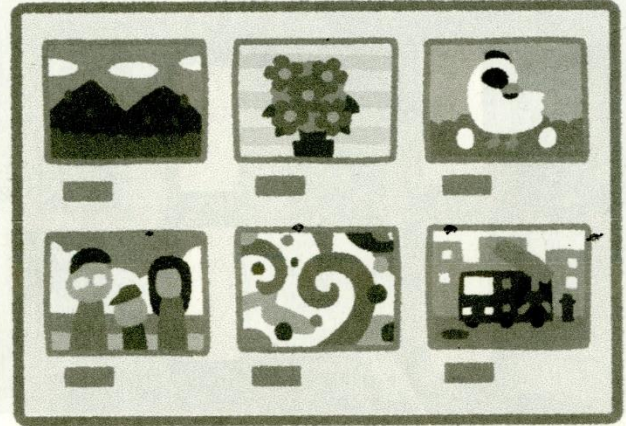


交流部の取り組みや活動について

交流部の主な活動は、「交流及び共同学習」です。その目標は、合理的配慮をもとに1近隣の小学校・中学校・高等学校の同世代の児童生徒との交流及び共同学習を通して、経験を広め積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育む。2交流活動を通して、障害のある児童生徒に対する

地域社会の理解を深め啓発を図る。3地域社会とのふれあいを深め、共に生きる社会を目指す、です。

各学部の活動内容は、小学部では、居住地校交流、交流鑑賞会、桜の宮小学校(2年生、5年生、なかよし学級)との授業交流・作品交流を行っています。中学部では、居住地校交流、交流鑑賞会、桜の宮中学校(中1、中2、特別支援学級)との授業交流・作品交流、桜の宮中学校への新転任の職員交流を行っています。そして、高等部では、交流鑑賞会(高1)、神戸甲北高校の文化祭ステージ鑑賞、神戸甲北高校のボランティア実践履修生の本校の授業参加(美術、家庭、HRなど)、作品交流(文



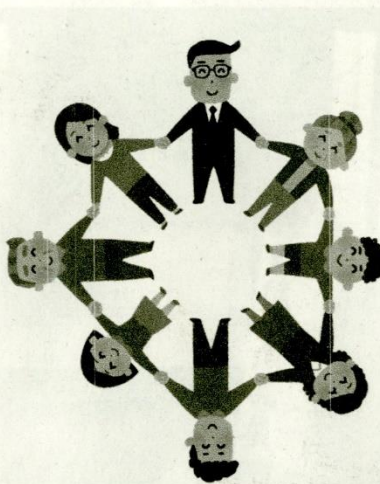
化祭)、部活動交流(バドミントン部など)、また、本校生徒が神戸甲北高校の授業(家庭、美術、書道、音楽など)に参加しています。しかし、今年度は、コロナ禍のため活動が制限され、残念ながら、これらほとんどが行われることはありませんでした。

校内での交流活動として、「縦割り交流活動(他学部の児童生徒との交流活動)」を年2回、実施しています。今年度は、コロナ禍のため12月のみの実施でした。

地域啓発活動では、「土曜なかよし活動」(年2回)、「神養まつり」(10月)の際にボラ

ンティアを近隣の高校や大学から募集し参加してもらっています。また、中学部では、地域の方々とスポーツ交流を行っています。また、定期的に桜の宮地域福祉センターやコアキタマチショッピングセンター(「はあーとわーくす展」)などで、本校児童生徒の美術作品などの展示も行っています。

来年度もコロナ禍の影響を受ける中、できる範囲で精一杯の交流活動ができればと考えています。みなさんのご協力をお願いします。



縦割り交流

小学部

今年度は例年の半分ほどの人数でしたが、どのグループもマスクをして大声を出さないようにしながら、魚釣りやボーリング、ダンスなどの活動を楽しみました。高等部や中学部の先輩たちは、司会進行や得点係など、様々な場面で小学部のみんなをリードしていました。大変よい交流ができました。



中学部

中学部は、主に高等部と交流をしました。先輩方がリードしてくださり、「自分たちも高校生になったらこんな風になりたいな…」と将来への憧れがより強まった様子でした。タブレットを使用したりダンボールで遊具を作ったりと工夫を凝らしたゲームを考え、とても楽しい時間を過ごすことができました。



高等部

12月18日(金)の午後、縦割り交流が行われました。本年度は、互いのクラスを半分に分けて2教室で実施したり、広い場所に移動したり、密を避ける工夫をしながら、小・中学部とペアになり、ペットボトルボーリングや新聞ボール集め、タブレットを使ったオセロやダンス、魚釣り等様々なクラス活動を行いました。

